学校番号	１１５

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	大修館書店「精選古典Ｂ　改訂版」						
副教材等	「読んで見て覚える　重要古文単語３１５　三訂版」（桐原書店） 「完全マスター古典文法　新訂五版」（第一学習社） 「完全マスター古典文法　準拠ノート基礎固め」（第一学習社） 「基礎から解釈へ　漢文必携　四訂版」（桐原書店） 「基礎から解釈へ　漢文必携　チェックノート基本編」（桐原書店） 「巻頭増補版　最新国語便覧」（浜島書店）　「日本文学史要点チェックノート」（文英堂） 「新成古典３ステップオリジナル問題集」（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年の古典では、昨年に引き続き、主に日本の江戸時代以前に書かれた文章や古代中国の文章を扱い、「読むこと」を中心に学びます。昔から親しまれてきた有名な文章に親しむことで、当時の感性や思想に触れ、新しい世界を知ることができます。更に、文章の読解に必要な単語の知識・文法や句法の知識・作品の背景などを学習し、内容の理解を深めていきます。また、どのような構造でどのような内容が書かれているのかを理解して読むことが大切です。定期考査だけでなく、授業中に実施する小テストで単語力や文法力の定着を図りましょう。予習や復習も大切です。基礎的な学習をおろそかにせず、実力をつけて、最終学年につなげましょう。

２　学習の到達目標

・古典についての理解や関心を深める。
・文語のきまり、訓読のきまりなどを理解する。
・古典としての古文と漢文を読む能力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述内容の確認 記述内容の分析			発言内容 記述内容の確認 記述内容の分析 定期考査	発言内容 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期中間	説話・随筆・故事成語	「検非違使忠明のこと」(宇治拾遺物語) 「大江山いくのの道」(十訓抄) 「名を聞くより」(徒然草) 「行く河の流れ」(方丈記) 「助長」「知音」「画竜点睛」「漱石枕流」「塞翁馬」	○			○	○	d:登場人物の行動に注目して読み、場面の展開を把握する。 d:作者の感性、見方、考え方を理解する。 e:対句的表現や比喩などの修辞技巧を理解し、表現効果を考える。 a:漢文訓読に習熟する。 故事成語のおもしろさを味読する。	d:小テスト 定期テスト e:観察（発言・発表） a:観察（音読・解釈）
一学期期末	物語・随筆・史伝	「かぐや姫の昇天」(竹取物語) 「初冠」「月やあらぬ」(伊勢物語) 「中納言参りたまひて」「二月つごもりごろに」(枕草子) 「項羽と劉邦」「鴻門の会」「項王の最期」(史記)	○			○	○	d:登場人物の言動を通して、古人のものの見方や考え方をとらえる。 d:作者の人柄と感性を理解すておもしろさを味わう。 e:歌物語の特徴を理解し味読する。 a:史伝のおもしろさを味わう。	d: 小テスト 定期テスト e:観察（発言・発表） a: 観察（音読・解釈）
二学期中間	物語・日記・文章	「花山院の出家」(大鏡)「宇治川の先陣」(平家物語) 「白波」(土佐日記)「あこがれ」「源氏の五十余巻」(更級日記 「桃花源記」	○			○	○	d:登場人物の行動や心情をとらえ、作者の思いを考える。 d:作者の心情を味わって読む。 e:敬語の意味と用法について整理し理解する。 a:作者の社会観・自然観を読み取る。	d: 小テスト 定期テスト e: 観察（発言・発表） a: 観察（発言・発表）
二学期期末	物語・思想	「桐壺」「若紫」(源氏物語) 「孔子と門人たち」「人の性」「政治のありかた」	○			○	○	a:当時の人々の生活や文化について認識を深める。 d:登場人物の人間関係をつかみ、心理の動きをたどる。 e:思想を理解する。	a: 観察（発言・発表） d: 小テスト 定期テスト e:観察（音読・解釈）
三学期	和歌・小説	「和歌」(万葉集・古今和歌集・新古今和歌集) 「定伯売鬼」				○	○	e:和歌の修辞法など独特の表現方法を理解する。 d:長文の散文を学習することにより、漢文の読解・鑑賞力を養う。	e: 小テスト 定期テスト d: 観察（発言・発表）

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　e：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目におい

て特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。